

パプティスト ミット ミッション ホスピタル

とみおか まさし

## Baptist Med Mission Hospitalに勤務の富岡昌先生

バングラディッシュのパプティストミットミッションホスピタルに勤務する富岡昌先生（耳鼻科医）の御紹介です。

パプティストミットミッションホスピタルは、バングラディッシュの農村部のナトールに位置する病院です。ナトールは首都ダッカから車で7時間、飛行機で45分の場所に位置する、マンゴーの生産で有名な地域です。

福島県立医大を1977年に卒業された富岡昌先生は、1990年からパプティストミットミッションホスピタルで勤務し、バングラディッシュの患者さんに医療を提供しています。



広い敷地の中には、病院の他に学校、教会、ゲストハウス、また富岡先生を含め職員の方々の住居や発電機があります。さらに、敷地内には国から派遣された警察官も24時間駐在し、病院の門にも警備員が常駐し、敷地内の安全を確保しています。

パプティストミットミッションホスピタルには、バングラディッシュ全国から、耳鼻科の質の高い医療を求めて、多くの患者さんが訪れます。病院で働く医師は、富岡先生の他に、現地の医師1人の2人体制で、多い時には1日400人程の外来患者を診療しており、火曜日と木曜日の手術日には1日約50件の耳鼻科領域の手術が行われるとのこと。



ユリウス・マクシミリアン大学ヴュルツブルク

## THE JULIUS-MAXIMILIANS-UNIVERSITY WÜRZBURG を保健科学部教員が訪問しました

2023年9月6日～8日にかけて、ドイツのユリウス・マクシミリアン大学ヴュルツブルク（ヴュルツブルク大学）を、保健科学部診療放射線科学科の長谷川功紀教授、三輪健太教授、宮司典明助教、山尾天翔助手、先端臨床研究センターの城竈大輝助手が訪問しました。

訪問の主な成果は次の4点です。

1つ目は、長谷川教授がヴュルツブルク大学の樋口先生と共同研究の進捗の報告を行い、今後の予定について検討を行いました。

2つ目は、三輪教授、宮司助教、山尾助手がヴュルツブルク大学のTran-Gia先生からヨーロッパ核医学会が進める核医学治療における重要臓器の被ばく線量推定研究の現状について説明を受け、ヨーロッパ核医学会の被ばく線量推定研究のオブザーバーになれることとなりました。

3つ目は、宮司助教、山尾助手、城竈助手がヴュルツブルク大学への留学に向けて施設見学及び共同研究に関する打合せを行い、準備が整い次第留学する運びとなりました。

4つ目は、診療放射線科学科の学生の留学先として、検討を打診し、教育面での受け入れも可能となりました。

ヴュルツブルク大学とは、2023年10月19日にMOU（覚書）を締結したところで、今後更なる交流が見込まれます。

